

# Auto ULTIMATE COLOR

Autoアルティメットカラー

SB01 / SB03

## 輝く仕上がり!ときめくめっき調シルバー

従来品の『Autoマイカベースシリーズ』から容器を攪拌しやすいプラスチックボトルへ変更し、さらに環境配慮型塗料『Autoアルティメットカラー』としてリニューアルしました。  
めっき調仕上げのホイールやホイールカバーなどに幅広く対応できるように色調を2種類設定しました。



### 特長

- 一液性既調合タイプ  
(AutoD-1ベースHS、Autoスイフト2K、  
AutoVトップモナークExcellentへ 混合可能)
- トルエン・キシレンフリーの環境配慮型塗料

### 用途

めっき調の意匠性を必要とする被塗物など



### 設定原色

原色 No.	原色名	特長
SB01	シルバーメタリックベース	標準的なめっき調タイプ(シルバータイプ)
SB03	ダークブライトシルバーメタリックベース	クロムめっき調タイプ(ダークグレータイプ)

※自動車ボディカラーにおいては、上記原色を使用しないと色再現ができないボディカラーがあります。

(2023年5月末時点)

使用方法(例)

①単独での使用例

工程		AutoD-1ベースHSの場合	Autoスイフト2Kの場合
カラーベース	主 剤	729 ブラック	729 ブラック
	硬 化 剤	AutoHS硬化剤	Autoウレタン硬化剤
	希 釈 剤	AutoウレタンシンナーECO	Autoウレタンシンナー
	混 合 比	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤=100 / 10 / 60~80	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤=100 / 10 / 80~100
	乾燥条件	60℃×40分	60℃×40分
メタリックベース	主 剤	Autoアルティメットカラー SB01 又は SB03	
	硬 化 剤	—	
	混 合 比	— ※1	
	フラッシュタイム	20℃×20分~30分	
クリヤー ※3	主 剤	Autoブレインクリヤー MX	AutoブレインクリヤーSF
	硬 化 剤	Autoウレタン硬化剤	Autoウレタン硬化剤
	希 釈 剤	AutoウレタンシンナーECO	Autoウレタンシンナー 又は シンナーECO
	混 合 比	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤=100 / 25 / 10~30	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤=100 / 20 / 10~30
	乾燥条件	60℃×40分	60℃×40分

②調色配合での使用例 (マツダ 46G マシーングレープレミアムメタリック 管理番号：0724 の場合)

工程		AutoD-1ベースHSの場合	Autoスイフト2Kの場合
カラーベース	主 剤	カラーベース配合	カラーベース配合
	硬 化 剤	AutoHS硬化剤	Autoウレタン硬化剤
	希 釈 剤	AutoウレタンシンナーECO	Autoウレタンシンナー
	混 合 比	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤=100 / 5 / 75~120	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤=100 / 10 / 150~180
	フラッシュタイム	60℃×10分又は20℃×20分~30分	60℃×10分又は20℃×20分~30分
メタリックベース	主 剤	メタリックベース配合	メタリックベース配合
	硬 化 剤	—	Autoウレタン硬化剤
	希 釈 剤	AutoウレタンシンナーECO	Autoウレタンシンナー 又は シンナーECO
	混 合 比	主剤 / 希釈剤 = 100 / 200~300 ※2	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤=100 / 4 / 200~300
	フラッシュタイム	20℃×20分~30分	20℃×20分~30分
クリヤー ※3	主 剤	Autoブレインクリヤー MX	AutoブレインクリヤーSF
	硬 化 剤	Autoウレタン硬化剤	Autoウレタン硬化剤
	希 釈 剤	AutoウレタンシンナーECO	Autoウレタンシンナー 又は シンナーECO
	混 合 比	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤=100 / 25 / 10~30	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤=100 / 20 / 10~30
	乾燥条件	60℃×40分	60℃×40分

- ※1 Autoアルティメットカラー単体でご使用の場合は既調合品のため、通常希釈剤は必要ありませんが、塗装環境や仕上がりが具合の調整する場合は、希釈剤を混合する事は可能です。
- ※2 1液タイプのため、硬化剤は不要です。
- ※3 使用するクリヤーについては、あくまで推奨するクリヤーを記載しております。その他のクリヤーをご使用の場合には、各クリヤーの塗装仕様に従って塗装を行って下さい。
- \* 上記の使用方法はあくまで参考例です。被塗物や塗装環境(条件)などに応じて、調整して下さい。

■使用上の注意

- 引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。 ※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- 取扱い上の注意
    1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
    2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
    3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。  
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、衣り巻きタオル、保護手袋等。
    4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。
    5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
    6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
    7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
    8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
  - 9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
  - 10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。
  - 緊急時の処置
    1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
    2. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
    3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
    4. 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
    5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
    6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

※本チラシは、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

※本製品の内容は予告なく変更することがあります。 ※本チラシに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。